

# 報告

## 2019 年度九州・沖縄支部会開催報告

### ～佐賀市星空学習館にて～

鷹野重之（九州産業大学）、仲野 誠（大分大学）、  
杉野（橋本）未緒（佐賀市星空学習館）

#### 1. はじめに

2019 年 11 月 9 日土曜日に、佐賀県の佐賀市星空学習館を会場として、日本天文教育普及研究会九州・沖縄支部会が開催された。広く九州・沖縄一円から、高校生や大学生など非会員も含めて 22 名の参加があった。ここでは今回の九州・沖縄支部会の様子を簡単に紹介する。

#### 2. 支部会開催報告

今回の支部会会場となった佐賀市星空学習館は 1992 年に佐賀市西与賀コミュニティセンターとして設立され、2016 年より佐賀市星空学習館と改名するとともに（一社）佐賀天文協会の運営により活動している。建物の屋上のドームに設置された口径 20 cm の屈折式望遠鏡を用いた観望会をはじめ、子ども天文クラブや大人向けの天文教室など天文・科学教育普及活動のほか、一般の貸しホールとして地域住民の活動の場としても活用されている。

今回の支部会では、招待講演のほか、報告や連絡事項を除いて全 6 件の一般講演があった。

今回は招待講演として、九州大学大学院理学研究院教授の奈良岡浩氏にご講演頂いた。ご講演では、現在ミッションが進行中の「はやぶさ 2」の話題を交えつつ、隕石や小惑星を手掛かりとした太陽系の始原物質の研究についてお話頂いた。南極での隕石収集のご経験談や、JAXA の内部事情なども交えつつ、太陽系内小天体から得られる有機物を中心とした物質科学の知見について、かなり詳しく

お話頂いた。また質疑応答の時間も十分とることができたので、多くの方々から活発な質問も途切れることがなかった。

一般講演では、日食についての観測報告や今後の観測計画などが詳しく紹介された。また、地元佐賀における天文教育普及の事例報告があった。会場となった佐賀市星空学習館の設立から現在に至るまでの経緯や活動内容についての紹介や、寺子屋を舞台にした天文教育の事例報告がなされた。さらに、高校での天文分野の興味関心の調査結果や、アマチュアグループの観測により小惑星探査ミッションの基礎的知見が得られた成功例などが報告された。最後に、8 月に開催された天文教育研究会年会の報告や、支部会開催についての議論がなされ、閉会となった。支部会のプログラムを表 1 に示す。

一般公演も質疑応答も含め、いずれも非常に盛り上がり、予定していた時間を大幅にオーバーしたものの、盛会のうちに支部会本体を終了することができた。支部会の様子については図 1 に示す。



図 1 支部会の様子

表1 九州・沖縄支部会のプログラム

挨拶、講師紹介	仲野 誠 (大分大学)
招待講演 「宇宙の有機分子と はやぶさ2」	奈良岡浩 (九州大学大学院 理学研究院地球惑 星科学部門/惑星微 量有機化合物研究 センター)
佐賀市星空学習館 指 定管理からの4年間	青柳千尋 (佐賀市星 空学習館)
南米アンデス日食と 天文普及活動	松本直弥 (長崎県天文協会)
2020.6.21 金環食現地 調査報告・中国、台湾	副島勉 (佐賀天文協会)
新たな場での天文教 育普及活動の可能性	杉野(橋本)未緒(佐 賀市星空学習館)
高等学校地学基礎・単 元「宇宙」における興 味・関心調査	上田智、金光理 (福岡教育大学)
DESTINY+ アマチュ アの貢献	早水勉 (佐賀市星空学習館)
日本天文教育普及研 究会総会の報告	鷹野重之 (九州産業大学)
情報交換、事務連絡等	仲野誠 (大分大学)

セッション終了後には佐賀市内にて、有志による情報交換会(懇親会)が開催された。おそらくいずれの支部会でも状況は同じと予想されるが、支部会本体以上に濃密な議論や情報交換が行われた。

### 3. おわりに

九州・沖縄支部では例年、10月～12月頃のいずれかの週末に支部会を開催している。会場は九州・沖縄地区の各県でおおむね順番に回しており、来年度は熊本県での開催を軸に検討を進めている。九州・沖縄地区において、教員・研究者・コミュニケーター・アマチュア観測家が一同に集う貴重な機会であり、九州・沖縄支部会員の方はもちろん、全国の方々に広く門戸を開いている。来年度以降の支部会開催時には、興味ある方には是非ご参加頂きたい。

鷹野 重之

\* \* \* \* \*